

第43回

全国英語教育学会 島根研究大会

松江城とレイクライン 写真提供：Shimane Prefecture

ご案内

下記の要領により、島根研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。
なお、大会案内、大会プログラム（7月上旬発表予定）、その他大会関連事項は、全国英語教育学会島根研究大会のウェブサイト上で随時発表いたします。（島根研究大会ウェブサイト <http://jasele2017.jpn.org/>）

平成29年4月1日

全国英語教育学会会長	伊東 治己	（関西外国語大学）
中国地区英語教育学会会長・大会実行委員長	深澤 清治	（広島大学）
大会実行副委員長	竹野 純一郎	（中国学園大学）
大会実行副委員長	大谷 みどり	（島根大学）
大会実行副委員長	猫田 英伸	（島根大学）
大会事務局局長	高橋 俊章	（山口大学）
大会事務局次長	飯島 睦美	（群馬大学）

- 期 日 平成29年（2017年）8月19日（土）・20日（日）
- 会 場 島根大学 松江キャンパス（教育学部）（URL: <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>）
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
- 主 催 全国英語教育学会
（地区学会：北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会・中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会・四国英語教育学会・九州英語教育学会）
- 共 催 国立大学法人 島根大学
- 後 援 島根県教育委員会・松江市教育委員会・鳥取県教育委員会・島根県高等学校英語教育研究会・島根県中学校英語教育研究会
- 担当地区学会 中国地区英語教育学会

参加要領

- 1 参加資格 全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、および、英語教育に関心を持っている方なら、どなたでもご参加いただけます。
- 2 参加申し込み 参加を希望されている方は、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。申し込みの際は、同封の「大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご参照の上、島根研究大会ウェブサイトを通してお申し込みください。種別を問わずご発表を申し込まれた方、および、各種フォーラム・ワークショップ・シンポジウムの提案者（学会が依頼する提案者を除く）も大会参加の手続きが必要となります。
- 3 参加申し込み締切日 参加申し込み期日は、**平成29年7月7日（金）23:59**です。
- 4 参加費
- ・事前申し込みの場合：大会予稿集も含めて、会員3,500円、非会員4,500円、学生2,000円
 - ・当日受付の場合：大会予稿集も含めて、会員も非会員も5,000円、学生は3,000円
- ※学生（学部学生、専任職を有しない大学院生）の場合、事前申し込みの際に日本旅行TIS松江支店へ学生証（氏名と学生番号が確認できる面）のコピーをFAX（0852-27-8562）で、あるいは写真を電子メールの添付ファイル（eigo43@nta.co.jp）でお送りください（電子メールの件名は「全国英語教育学会学生参加」）。当日受付の場合は、受付で学生証を提示してください。※本学会は、小学校英語教育学会と提携しております。小学校英語教育学会会員の方は、全国英語教育学会会員でなくても、会員と同額（事前申し込み：3,500円 当日受付：5,000円）になります。
- 5 申し込みの変更や取り消し 参加申し込み締切後のご変更やお取り消しに関しましては、手数料がかかりますので、申し込みの際にウェブサイトの「キャンセルについて」をご参照いただき、【参加登録】【懇親会】【弁当】【宿泊】【託児コーナー】の各項目について必ずご確認ください。参加申し込み締切日まではウェブサイト上での変更や取り消しが可能ですが、締切日を過ぎるとウェブサイト上のフォームからは変更や取り消しが一切できません。旅行会社（日本旅行TIS松江支店）へお電話（0852-22-0011）または電子メール（eigo43@nta.co.jp）にてご連絡ください。
- 6 派遣申請書 大会出席の派遣申請が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記して、返信用封筒に宛先を記入し、切手を貼付けの上、大会事務局までお申し込みください。

発表要領

- 個人会員の発表資格
- 1 発表者の資格
- 1) 平成29年2月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、平成28年度分会費を納入していることが必要です。
 - 2) 共同研究では、代表者が上記の条件を満たし、かつ、他の発表者全員が、発表申し込み期限期日までに、全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。共同研究代表者は、共同研究者の会員登録と会費納入が発表申し込み締め切り期日までに完了されていることを、責任を持ってご確認ください。
 - 3) 研究大会の実行委員会においても、発表申し込み終了時点で、研究発表・事例報告の発表申し込み者全員について、全国学会事務局の会員名簿によって、資格審査を行います。その結果、共同研究の場合も、共同研究発表者としての資格を有していないと判明した場合、「共同研究発表はできません」ので、ご注意ください。

2 自由研究発表・事例報告の申し込み

- 1) 発表申し込みは、全国英語教育学会島根研究大会ウェブサイト <http://jasele2017.jpn.org/> の「発表申し込み」のページから行ってください。書式に従って、発表題目、その他必要事項を記入し、**5月19日（金）23:59**までに申し込みをしてください。要旨は大会プログラム作成のために用いられ、島根研究大会ウェブサイト等で公開されます。なお、発表申し込み後は発表題目等の変更はできませんのでご注意ください。
- 2) 発表は、種別を問わず2件まで可能ですが、発表代表者には1回しかありません。ただし、フォーラム、シンポジウムなどは含みません。
- 3) 発表要旨の作成にあたって
 - ① ウェブサイト上の発表申し込みフォームに書き込んでください。
 - ② 日本語（400字以内、タイトルや所属を含まない）、英文（250words程度）
 - ③ 写真や図は入れられません。
 - ④ 発表タイトルおよび要旨は、発表言語に合わせてください。
 - ⑤ 要旨はウェブ上で公開されます。
- 4) 発表カテゴリーは下記のようになっています。

A. 種類	自由研究発表	事例報告	
B. 形態	口頭発表	ポスター発表	いずれでもよい
- 5) 発表の日時の指定は受け付けませんのでご了承ください。

3 予稿集原稿作成要領

- 1) 当日配布するハンドアウトの代わりとして大会予稿集を作成します。発表内容を執筆要領に従って、A4用紙2枚（厳守）で作成してください。
- 2) 予稿集原稿提出締切日：**平成29年6月16日（金）**
- 3) 原稿の送付：島根研究大会ウェブサイトのフォームを使用してお送りください。
- 4) 予稿集原稿作成に関するお問い合わせは、島根研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
- 5) 予稿集の執筆要領は、島根研究大会ウェブページに掲載しますのでご覧ください。

4 発表要領

- 1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告時間20分、質疑応答5分、計25分です。司会者はつきません。進行の補助を行うタイムキーパーがつきます。
- 2) ポスター発表は、あらかじめ指定された時間帯（前半はあるいは後半）でポスター前にて発表・質疑応答をお願いします。

5 その他

大会プログラムは7月上旬に島根研究大会ウェブサイトで開催する予定です。本案内の日程や課題研究フォーラム、授業研究フォーラム等のタイトル、提案者は4月時点のもので、最終内容は、大会プログラムでご確認ください。

大会日程概要

8月18日（金）

時間	予定	場所
13:00-14:15	紀要編集委員会	島根大学 教育学部
14:30-17:30	理事会	島根大学 教育学部

8月19日(土)

企業展示：9：30～17：55

時間	予定	場所
8:00-	受付	
9:00-9:20	開会行事	大学ホール
9:20-9:30	発表者・タイムキーパー係集合	各発表会場
9:30-10:55	自由研究発表・事例報告 ①9：30-9：55 ②10：00-10：25 ③10：30-10：55	各発表会場
11:10-12:30	特別講演	大学ホール
12:30-13:30	昼食	
12:35-13:20	大学生・大学院生フォーラム	
13:20-13:30	発表者・タイムキーパー係集合	各発表会場
13:30-15:25	ポスター発表〔午前中に掲示〕 (コアタイム：前半13:30-14:25、後半14:30-15:25)	
13:30-15:25	自由研究発表・事例報告・企業(賛助会員)プレゼンテーション ④13:30-13:55 ⑤14:00-14:25 ⑥14:30-14:55 ⑦15:00-15:25	各発表会場
15:30-17:10	課題研究フォーラム・授業研究フォーラム ①課題研究フォーラム2年目(関西、四国) ②課題研究フォーラム1年目(東北、中部) ③授業研究フォーラム(北海道、九州)	各発表会場
17:15-17:55	総会(学会賞授与式を含む)	大学ホール
19:00-21:00	懇親会	松江エクセル東急 松江市朝日町590

8月20日(日)

企業展示：9：30～15：40

時間	予定	場所
9:00-	受付	
9:20-9:30	発表者・タイムキーパー係集合	各発表会場
9:30-11:55	自由研究発表・事例報告 ⑧9:30-9:55 ⑨10:00-10:25 ⑩10:30-10:55 ⑪11:00-11:25 ⑫11:30-11:55	各発表会場
10:30-12:00	ワークショップ	各発表会場
11:00-13:55	ポスター発表〔午前中に掲示〕 (コアタイム：前半11:00-11:55、後半13:00-13:55)	
12:00-13:00	昼食	
12:10-12:50	大学生・大学院生フォーラム	
12:50-13:00	発表者・タイムキーパー係集合	各発表会場
13:00-13:55	自由研究発表・事例報告・企業(賛助会員)プレゼンテーション ⑬13:00-13:25 ⑭13:30-13:55	各発表会場
14:00-15:50	シンポジウム	大学ホール
15:50-16:10	閉会行事	大学ホール

※発表件数など、諸々の事情により、時間帯に多少の変動が生じる場合がございます。詳細は、島根研究大会ウェブサイトをご参照ください。
また、必ず後日掲載する大会プログラムにてご確認ください。

プログラム紹介

● 特別講演

講師：竹田 契一（大阪医科大学LDセンター）

講演タイトル：LD・Dyslexiaへの英語教育の課題

講演概要

発達障害が背景にある読み書きが苦手な子どもの場合、単なるケアレスミス、うっかりミスで出来ないのではなく、大脳機能が関係する中枢神経系の障害が原因であることが多いのが特徴である。この場合、「ゆっくり、繰り返し教える」という学校、家庭で使われている一般的な方法ではその効果に限界がある。

読み書き障害には、知的には問題がないにもかかわらず読み書きに特化したDyslexia（発達性読み書き障害ともよばれる）から話す、聞く力の障害を含めた広い意味のLD（Learning Disabilities）まで様々である。特に聴覚系の問題を持っており、音韻意識、認識力の低下に起因する読み書きの障害（Phonological Processing Disorders）、視機能の問題として、視力だけではなく、目の動き、両眼の調節機能がアンバランスであることから起こる読み書き障害（Visual or Visuospatial Processing Problems）まで様々である。

平成30年から小学校5・6年生では英語が成績評価の対象になることから、LD・Dyslexiaの児童生徒への効果的な学習指導が緊急課題となっている。

今回の講演では、LD・Dyslexiaの特性が英語教育に与える影響について述べる。

特別講演講師 プロフィール

大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学LDセンター顧問。現在、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会理事長もつとめる。専門は発達障害児（LD・ADHD・高機能広汎性発達障害）への教育的支援、言葉の遅れに対するインリアルアプローチ、脳損傷児・者へのスピーチリハビリテーションなど。『図説LD児の言語・コミュニケーション障害の理解と指導』（文化科学社）、『高機能広汎性発達障害の教育的支援』（明治図書）、『特別支援教育の理論と実践Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』（金剛出版社）などの著書で知られる。

シンポジウム

テーマ：インフォメーション・トランスファーに基づく能動的な英語リーディング指導の可能性：旧態依然なのは大学入試か高校か？

- ・コーディネーター兼シンポジスト 卯城 祐司（筑波大学）
- ・シンポジスト 前田 昌寛（石川県立金沢商業高等学校）
- 渡辺 淳志（河合塾）

シンポジウムの背景と趣旨

インフォメーション・トランスファーとは、英文情報を、書く、話す、図や絵で表現するなど形を変えて表すことを指す。英語リーディングでは、頭の中に状況モデルを描くことができなければならない。しかし依然として、このような読み方が出来ない高校生、大学生が多い。それは、旧態依然とした受験英語指導が原因なのか、それとも教室でのリーディング指導にまだまだ改善の余地があるからなのだろうか。過去20年で大学入試英語は大きく進化した。ゆとり教育など、学習指導要領に書かれる時代の要請に合わせて入試は進化していたのだ。この事實は、記述中心の難関国公立大2次試験はもちろん、マーク方式の私大入試やセンター試験にも当てはまる。入試英語にきちんと対応できる英語力を身につけることは、状況モデルを描くことができるようになることと本来矛盾しないはずである。受験英語や受験指導のせいばかりにせず、そろそろ、本当にリーディングの授業を変えなければならない。本シンポジウムでは、インフォメーション・トランスファーに基づくリーディング指導こそ、大学入試に対応できる効果的な指導であり、英語が苦手な生徒を含め教室全員が生きる授業となることを、実際の大学入試問題や進学校・職業高校での実践例を取り上げながら、検討していきたい。

課題研究フォーラム2年間継続研究の2年目

1. 「生徒の言語使用につながる英語授業」を考える：実践と課題（関西英語教育学会）

- ・コーディネーター兼提案者 中田 賀之（同志社大学）
- ・提案者 興津 紀子（三田市立狭間中学校）
長沼 君主（東海大学）・木村 裕三（富山大学）
稲岡 章代（賢明女学院中学校・高等学校）・池野 修（愛媛大学）

2. 英語教室をワークショップに—自立した英語学習者の育成を目指して（四国英語教育学会）

- ・コーディネーター 長崎 政浩（高知工科大学）
- ・提案者 小坂 敦子（愛知大学）・吉沢 郁生（甲南高等学校・中学校）
宮城 妙子（青山学院大学他）

課題研究フォーラム2年間継続研究の1年目

1. ワーキングメモリ機能にみる小・中学生の認知的特徴（東北英語教育学会）

- ・コーディネーター兼提案者 佐久間康之（福島大学）
- ・提案者 齊藤 智（京都大学）・高木 修一（福島大学）

2. 小中連携の英語とCLIL – Focus on Form・Literacy Skill を取り入れて（中部地区英語教育学会）

- ・コーディネーター兼提案者 柏木 賀津子（大阪教育大学）
- ・提案者 山野 有紀（宇都宮大学）・村上加代子（神戸山手短期大学）
伊藤由紀子（大阪成蹊大学）
李 静香（大阪市立墨江丘中学校）

授業研究フォーラム

1. タスク性を取り入れたスピーキング活動の実践—中学校・高校の接続の視点から—（北海道英語教育学会）

- ・コーディネーター 山下 純一（函館工業高等専門学校）
- ・提案者 小山友花里（留萌市立留萌中学校）
中村 洋（二セコ町立二セコ中学校）
臼田 悦之（函館工業高等専門学校）
志村 昭暢（北海道教育大学）・横山 吉樹（北海道教育大学）

2. コミュニケーション能力を育成するための小中連携を考える—赤江小学校・赤江東中学校指導教諭の試み—（九州英語教育学会）

- ・コーディネーター アダチ徹子（宮崎大学）
- ・提案者 岩切 宏樹（宮崎市立赤江小学校）
遠目塚由美（宮崎市立赤江東中学校）

第5回大学生・大学院生フォーラム

（1日目） 大学生・大学院生のための交流の場

- ・司 会 木村 雪乃（獨協大学）

（2日目） ミニシンポジウム「学生の視点から学会を考える」

- ・司会兼パネリスト 名畑目真吾（共栄大学）
- ・パネリスト 和田 孝平（島根県立飯南高等学校）

ワークショップ

1. 英語スピーキングの評価—理論と実践

- ・講 師 小泉 利恵（順天堂大学）
矢野 賢（茨城県立水戸第一高等学校）

2. 特別支援教育の視点を取り入れた英語学習を考える

- ・コーディネーター兼司会 飯島 睦美（群馬大学）
- ・指導助言 緒方 明子（明治学院大学）
- ・講 師 中釜 智子（松江市教育委員会学校教育課）
原 博子（雲南市立吉田小学校）
村尾 亮子（雲南市立吉田小学校）

懇親会・宿泊・弁当・託児コーナーの申し込み

申し込み方法の詳細は、同封の「大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナーのご案内」をご覧ください。

- 懇親会**

松江エクセル東急（松江市朝日町590）にて、会費7,000円で懇親会を開催いたします。島根の美味しい料理、郷土芸能等をお楽しみいただけます。事前の申し込みのみ、先着250名で締め切らせていただきます。
- 宿泊**

日本旅行TiS松江支店にてホテル幹旋を行っておりますので、ウェブサイトの宿泊申し込みフォームよりお申し込みください。
- 弁当**

1日目および2日目の弁当（お茶付き）1,000円の事前申し込みを受け付けます。1日目と2日目の弁当の内容は変わります。周辺には食事を取れる場所が少ないため、事前の申し込みをお勧めします。
- 託児コーナー**

会場内に託児コーナーを設置いたします。経験豊富な保育士が2名以上で、お子様をお預かりします。詳細は島根研究大会ウェブサイトにてご案内いたしますが、ご利用をご希望の方は、ウェブサイトのフォームから必ず事前申し込みを行ってください。事前申し込みのないお子様のお預かりはできませんので、7月7日（金）23:59までに必ず「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。

連絡先

1 発表申し込み先

島根研究大会ウェブサイト「発表申し込み」のページからお申し込みください。

2 大会参加・お弁当・懇親会・宿泊・託児コーナー申し込み先

島根研究大会ウェブサイトよりお申し込みください。

3 大会予稿集原稿送付・問い合わせ先

- 予稿集原稿は、研究発表のお申し込み後に事務局よりお送りする電子メールをご確認いただき、島根研究大会ウェブサイト専用フォームにてご送付ください。
- 予稿集原稿についてのお問い合わせは、島根研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用いただくか、下記のメールアドレス宛てにお願いいたします。

4 大会問い合わせ先：大会事務局

〒753-8513 山口市吉田1677-1 山口大学教育学部英語教育教室内
高橋 俊章
Email: jasele2017@gmail.com

会場へのアクセス

飛行機で

JALをご利用の場合		ANAをご利用の場合	
東京（羽田）⇔出雲空港	約1時間25分	東京（羽田）⇔米子空港	約1時間20分
名古屋（小牧）⇔出雲空港	約1時間		
大阪（伊丹）⇔出雲空港	約1時間		
福岡⇔出雲空港	約1時間5分		
* 出雲空港連絡バスで松江駅まで約30分		* 米子空港連絡バスで松江駅まで約45分	

* 松江駅から空港に向かうバスの松江駅出発時間は、飛行機出発時間の80分前（出雲空港、米子空港とも）です。

JRで

東京⇔松江（約6時間）	大阪⇔松江（約3時間20分）	福岡⇔松江（約4時間20分）
・東京⇔岡山・・・新幹線 ・岡山⇔松江・・・JR伯備線	・大阪⇔岡山・・・新幹線 ・岡山⇔松江・・・JR伯備線	・福岡⇔岡山・・・新幹線 ・岡山⇔松江・・・JR伯備線

高速バスで

東京（渋谷）⇔松江（約10時間25分）	大阪（梅田）⇔松江（約4時間40分）	岡山⇔松江（約3時間）
広島⇔松江（特急便）（約2時間50分）	福岡⇔松江（約10時間10分）	

●松江駅から島根大学までの経路

以下の地図（朝の簡易なバス情報付）とあわせて島根大学ホームページ（<https://www.shimane-u.ac.jp/access/>）をご覧ください。また、「松江駅」「島根大学前」間のバスについては、島根研究大会ウェブサイト（<http://jasele2017.jpn.org/venue/>）に詳しい説明があります。タクシーの場合、所要時間は約10分になります。

●会場の駐車場

島根大学には当日駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

松江駅 乗り場②

【一畑バス】
美保関
ターミナル行
8:45 → 9:03

【市営バス】
大学・川津行
7:24 → 7:41
8:01 → 8:21
8:24 → 8:44
8:48 → 9:08
9:05 → 9:23

松江駅 乗り場①

【市営バス】
北循環（内回り）
7:30 → 7:44
8:00 → 8:14
8:40 → 8:54
9:15 → 9:29

松江駅→島根大学のバス利用案内

松江駅バス乗り場番号
【バス会社名】
行先表示
松江駅 → 島根大学前
発時刻 → 着時刻

バス運賃 片道210円

松江駅バス乗り場概略図

② ① 北口 タクシー
バス乗り場 乗り場



(C) OpenStreetMap contributors

島根県観光キャラクター
「しまねっこ」
島観連許第4260号